平成２７年度に樹立・策定する奥久慈森林計画区の概要

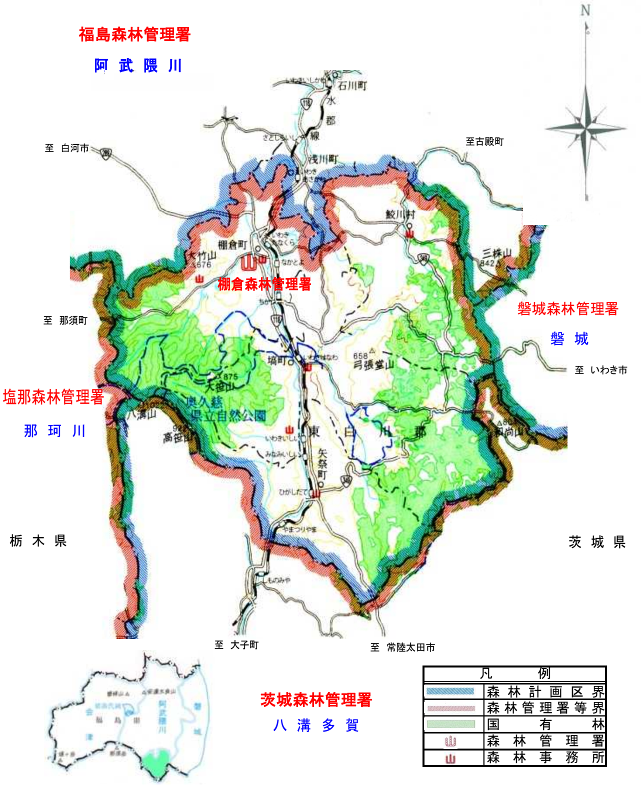
１　森林計画区の概要

八溝山周辺の天然林　（棚倉町）

レクリエーションの森（山本不動森林スポーツ林）
（棚倉町）

ア　位置
　当計画区は福島県の南部に位置し、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村の３町１村に所在する国有林野22千haが計画の対象です。

奥久慈森林計画区の位置



イ　国有林の特徴
①　当計画区は、東部が阿武隈山地、西部が八溝山地に位置し、県下でも有数の「奥久慈林業地」として人工林が造成されています。また、八溝山地一帯は良好な自然環境が維持され、山頂付近に生育する天然性アカシデとケヤキ林の区域を林木遺伝資源保存林に設定し、貴重な森林生態系を保全しています。
②　当計画区には、奥久慈県立自然公園(面積4,831haのうち国有林2,085ha)があり、山岳景観とともに生活に密着した里山として、「山本不動森林スポーツ林」、「塙町自然体験の森」等の自然とのふれあいの場があり、自然体験やキャンプ、保健休養の場等として多くの人々に利用されています。

ウ　森林資源の状況
　人工林面積は15千ha、天然林面積は6千haです。
　人工林（面積割合）は主に、スギ(51%)、ヒノキ(32%)、アカマツ(11%)で、21～40年生が44%、41年生以上が47%となっており、利用期に達した林分が充実しています。
　天然林は主にブナやナラ類です。

2 現行計画の概要

ア　保護林及び緑の回廊

保護林	1箇所	44 ha

国有林をフィールドとした植樹体験（矢祭町）

イ　レクリエーションの森

森林スポーツ林	1箇所	64 ha
風景林	2箇所	185 ha
その他	2箇所	9 ha

ウ　国民参加の森林（もり）づくり

遊々の森	20 ha

エ　伐採・保育事業量

主伐	142,890 ㎥
間伐	286,132 ㎥
人工造林	631 ha
天然更新	165 ha
下刈	2,738 ha
つる切	283 ha
除伐	524 ha

路網の整備と併せた高効率の生産事業（塙町）

オ　林道の事業量

林道開設	24路線	35,410 m
林道改良	35路線	9,600 m

カ　治山の事業量

渓間工・山腹工	8箇所
保安林整備	1,200 ha

間伐材の使用による自然と調和した治山事業
（棚倉町）

３ 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、民有林に係る施策との一体的な推進を図りつつ、公益重視の管理経営の一層の推進に取り組むほか、我が国の森林・林業再生への貢献として、民有林と連携した施業、地域材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組みます。

このような、基本的な考え方に基づき、当計画区において以下の取り組みを推進します。

（１）森林の持つ公益的機能をより一層発揮するため、針広混交林化、複層林化など多様な森林（もり）づくりを推進します。

（２）地球温暖化防止に貢献する森林吸収量の確保のため、着実な間伐の実施に加え、主伐と主伐後の効率的な再造林等に積極的に取り組みます。

（３）生物多様性保全へ貢献するため、関係行政機関等と連携しつつ、原生的な森林生態系の保全・管理や渓畔林再生の取り組みを推進します。

（４）民有林と連携して施業を行う森林共同施業団地や路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで高効率な作業システムの普及などを通して、森林・林業の再生に取り組みます。

（５）林産物の供給等を通じて、地域の川上・川中・川下の関係者との連携を強化し、地域材の安定的・効率的な供給体制の構築に取り組みます。

（６）「国民の森林（もり）」として、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林（もり）づくり等を支援します。

（７）松くい虫被害は小康状態にありますが、早期発見に努め、被害の発生を確認した箇所については、蔓延防止対策を実施します。

（８）東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う国有林野内の放射線物質の除染については、汚染への対処に関する特別措置法に基づき地方公共団体等が策定する除染実施計画により適切に対応し、必要な対策を行います。

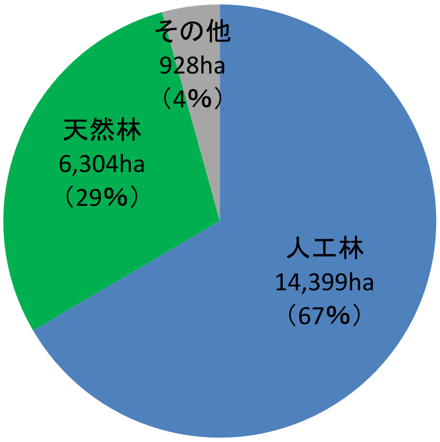
（参考1）森林資源の現況

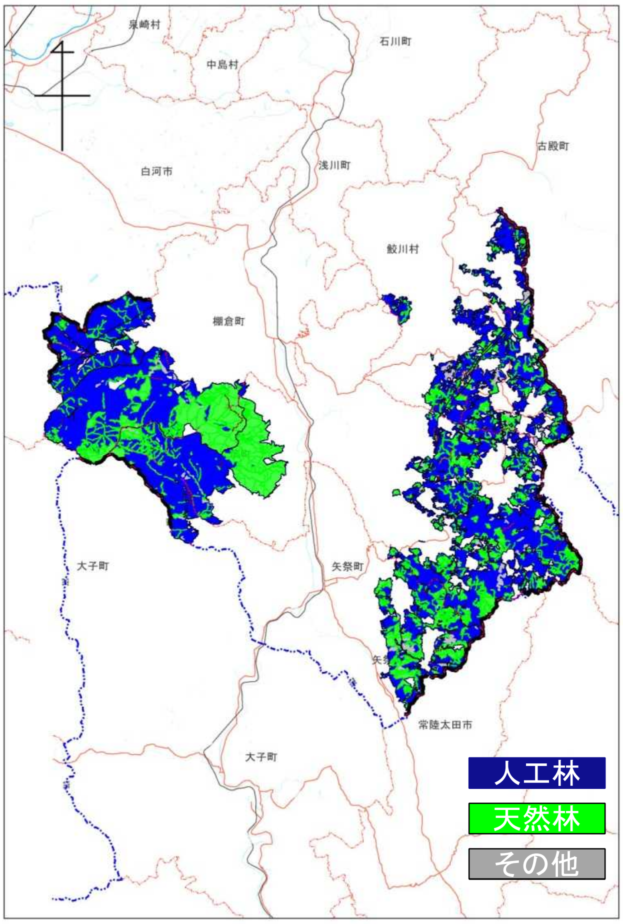
○市町村別森林面積等

市町村名	市町村面積 A （ha）	森林面積 B （ha）	うち国有林 C （ha）	森林率 D=B/A(%)	国有林率 E=C/B(%)
棚　倉　町	15,982	12,087	5,732	76	47
矢　祭　町	11,822	9,488	3,115	80	33
塙　　町	21,160	17,393	9,032	82	52
鮫　川　村	13,130	9,712	3,753	74	39
計	62,094	48,680	21,631		

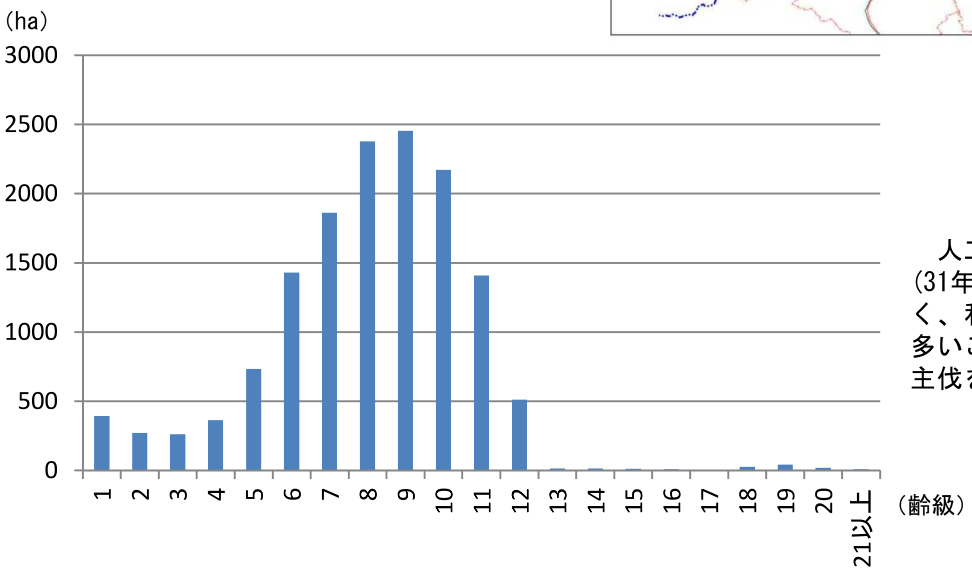
注）１．市町村面積は、福島県勢要覧（平成22年度版）による。
　　２．森林面積は、国有林の地域別の森林計画書、国有林面積は、地域管理経営計画書の数値である。
　　３．端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

○人工林・天然林別割合 面積





○人工林の齢級別面積



人工林の齢級別では、７齢級(31年生)～10齢級(50年生)が多く、利用期を迎えている森林が多いことから、計画的な間伐と主伐を実施する必要があります

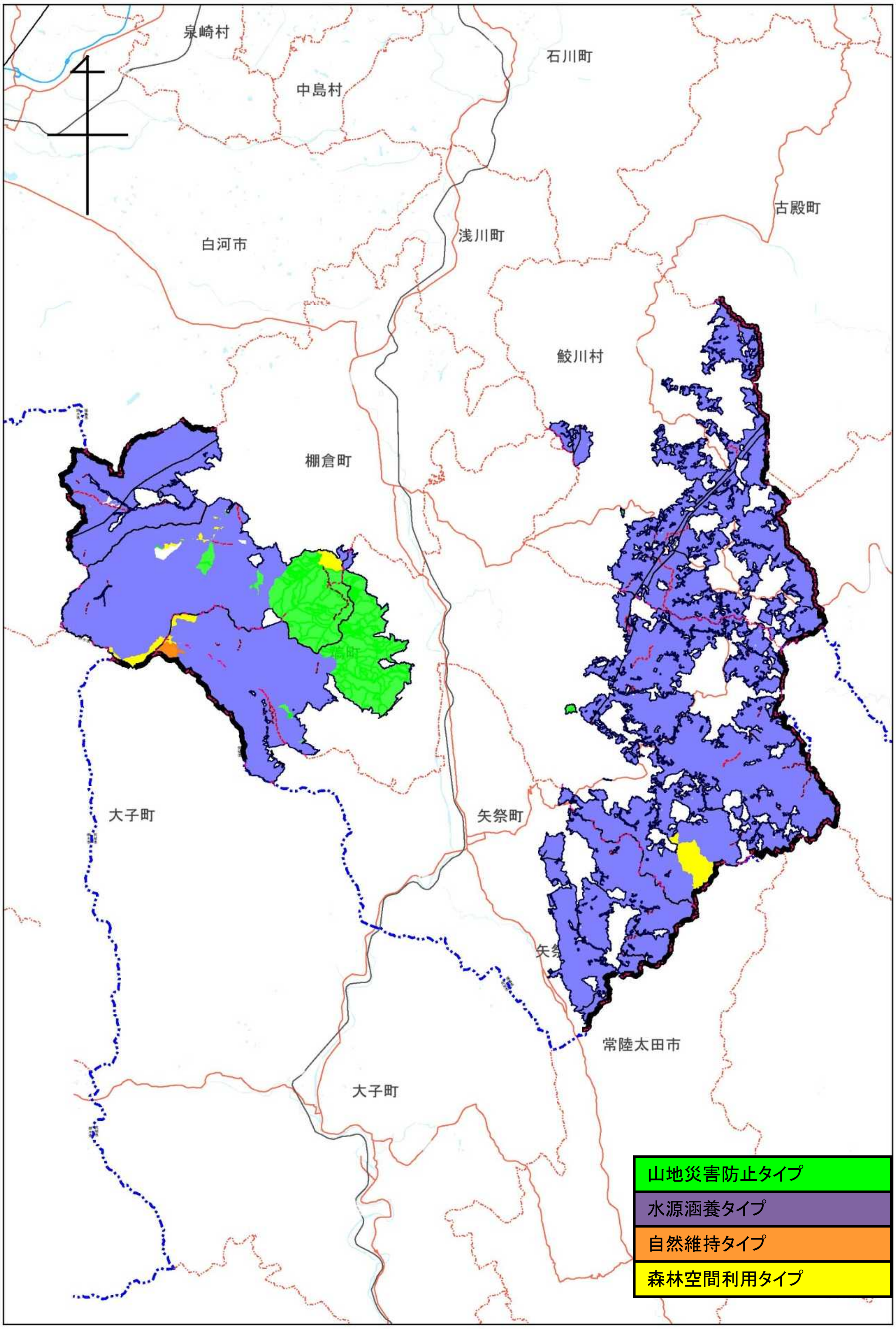
（参考2）機能類型

機能類型区分について

国有林を重視すべき機能に応じた機能類型に区分し、機能類型にふさわしい管理経営を推進

機能類型区分		機能類型区分の考え方	管理経営の考え方	比率
山地災害防止タイプ	土砂流出・崩壊防備エリア	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持	10%
	気象害防備エリア			－
自然維持タイプ		原生的な森林生態系や希少な動植物の生育・生息する森林など生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な動植物の生育・生息に適した森林の維持	0%
森林空間利用タイプ		保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成	2%
快適環境形成タイプ		快適な環境の形成機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持	－
水源涵養タイプ		水源涵養機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮	88%

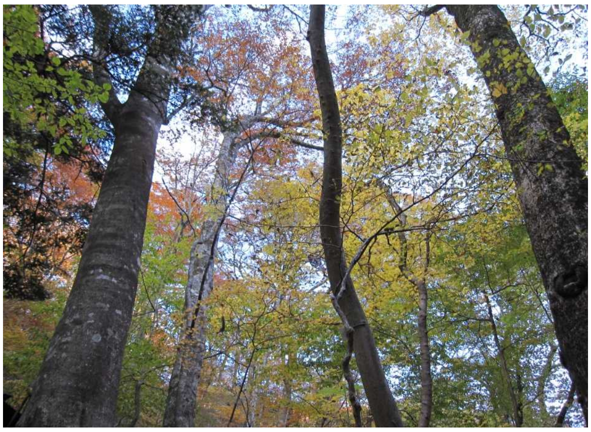
機能類型位置図


泉崎村
石川町
中島村
古殿町
白河市
浅川町
鮫川村
棚倉町
大子町
矢祭町
常陸太田市
大子町
山地災害防止タイプ
水源涵養タイプ
自然維持タイプ
森林空間利用タイプ

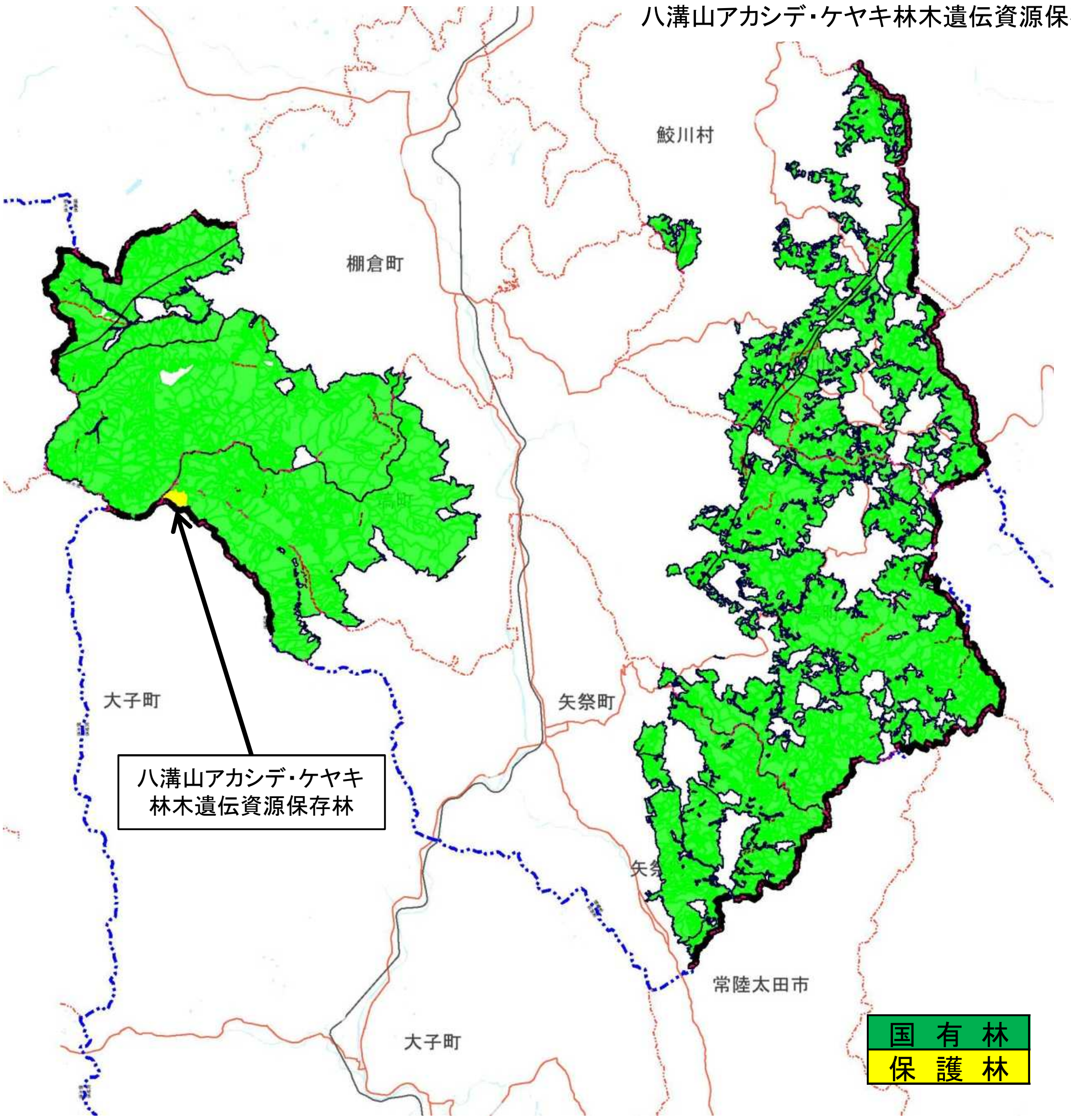
（参考3）保護林

区分		目的	箇所数	面積(ha)
保護林	林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を森林生態系内に保存すること	1	44

名称	面積(ha)
林木遺伝資源保存林	44
八溝山アカシデ・ケヤキ	44



八溝山アカシデ・ケヤキ林木遺伝資源保存林（矢祭町）

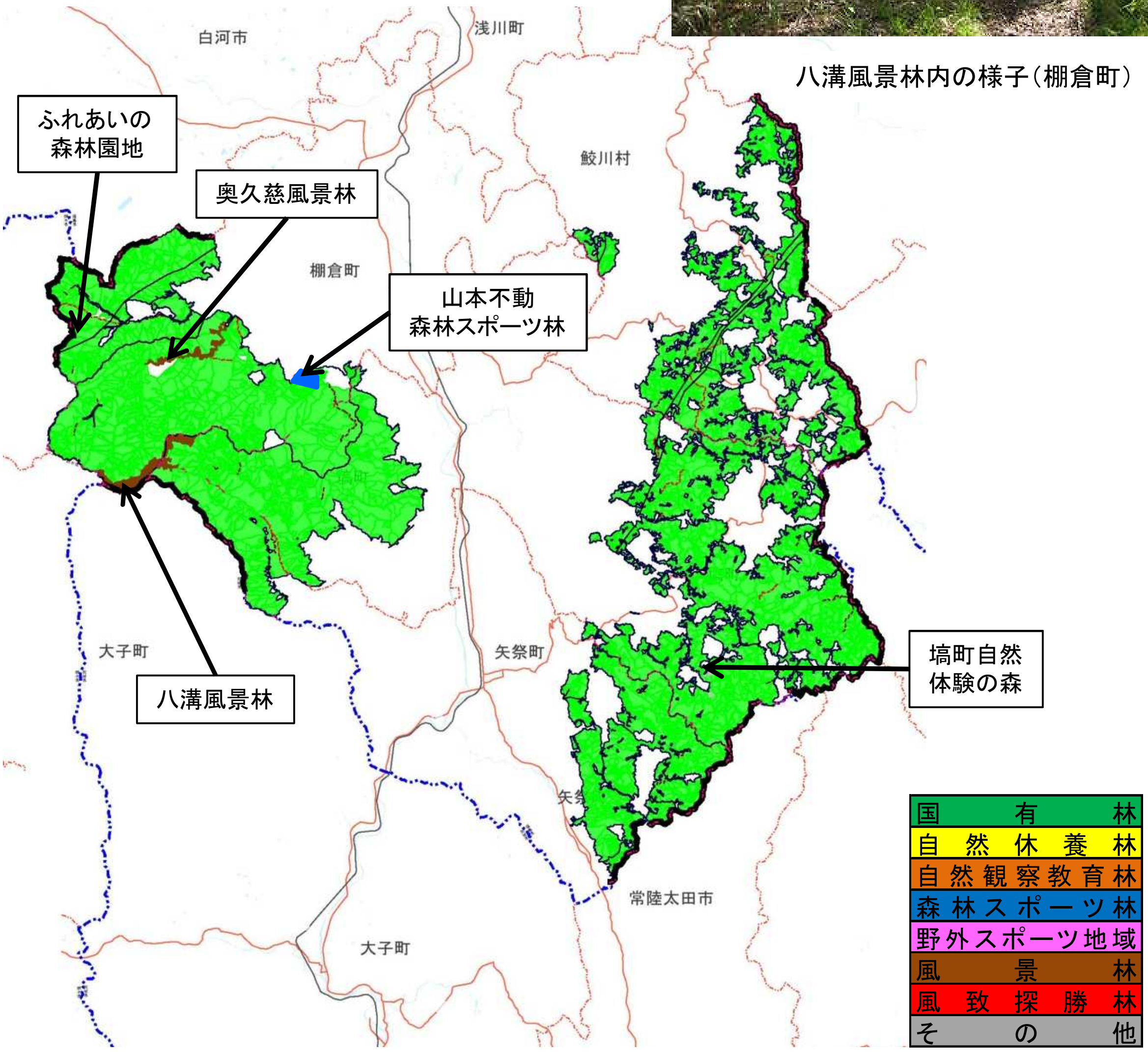


（参考4）レクリエーションの森

種　　類	特　　　　　徴	箇所数	面積(ha)
森林スポーツ林	森林とふれあいながらスポーツを楽しめる森林です。キャンプ、フィールドアスレチック、サイクリングなど、アウトドアライフを楽しむことができます。	1	64
風景林	名所、旧跡等と一帯となって景勝地を形作ったり、展望台等から眺望される美しい森林です。	2	185
その他	園地や体験の森等でレクリエーションに利用される施設です。	2	9

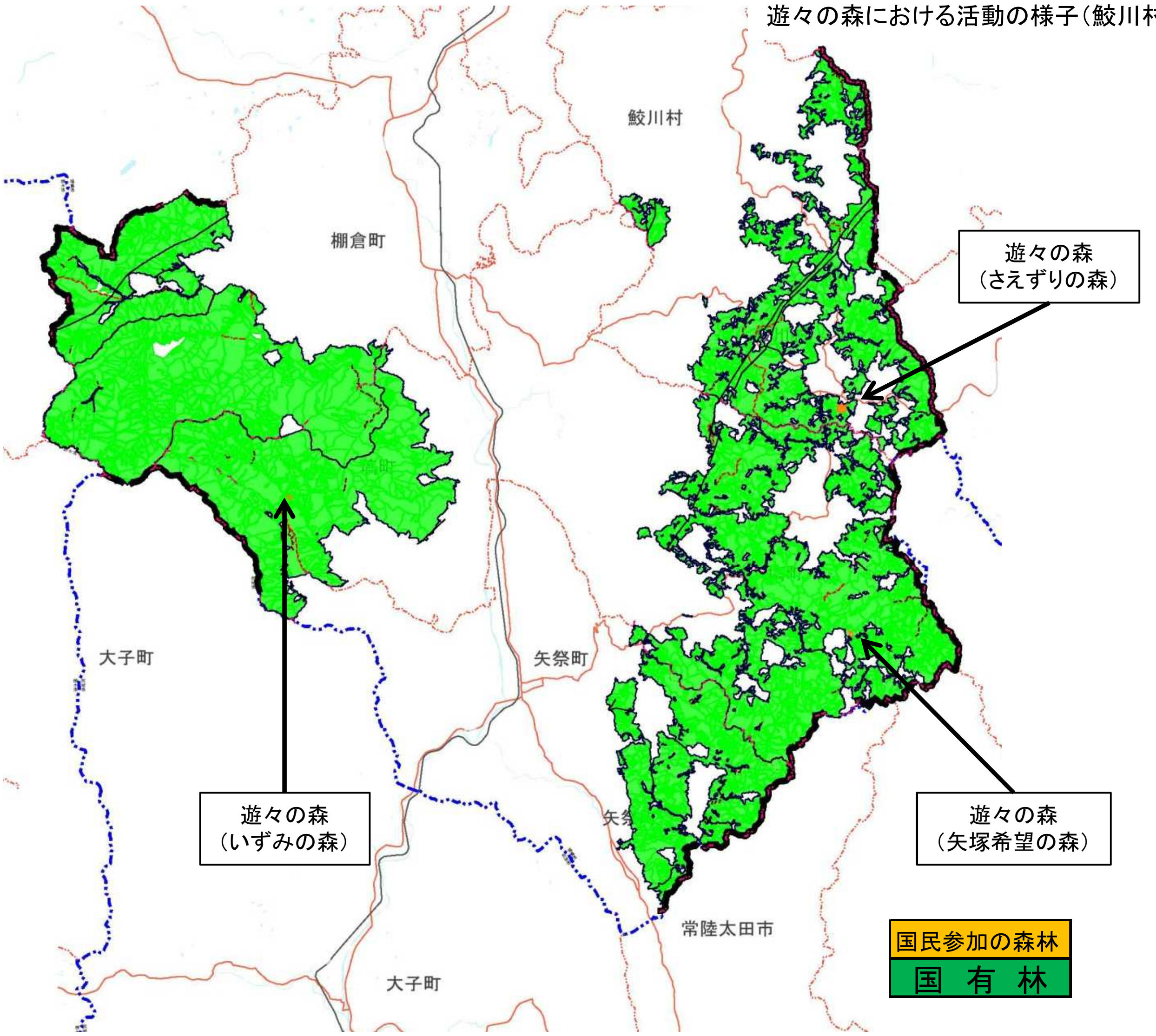
名　　　称	面　積（ha）
山本不動森林スポーツ林	64
奥久慈風景林	46
八溝風景林	139
ふれあいの森林園地	4
塙町自然体験の森	5

八溝風景林内の様子（棚倉町）



（参考5）国民参加の森林（もり）づくり

種　　類	内　　　　容	箇所数	面積（ha）
遊々の森	森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動などへのフィールドを提供しています。	3	20

種　類	名　　称	面積（ha）
遊々の森	いずみの森	1
〃	矢塚希望の森	2
〃	さえずりの森	17

遊々の森における活動の様子（鮫川村）